ハ從三位ニヤ在シマスラン」ト。又云ク、「文德實錄・類聚三代格等ニ、嘉祥四年正月、天下諸神增ニ一階一。ノコト見ユレバ、此ノ時、從三位ニ進ミ給ヘルナラン。又、日本紀略ニ、寬平九年十二月、天下諸神增階ノコト見ユレバ、此ノ時ハ從一位ニ進ミ給ヘルナルベシ」ト。

書紀ニ、「景行天皇五十五年春二月壬辰、以ニ彦狹島王一、拜ニ東山道十五國都督一。又、五十六年秋八月、詔ニ御諸別王一曰、汝父彦狹島王不レ得ニ任所一而早薨。故、汝專領ニ東國一云々」ト。茂侶神社モ御諸別ト因アルコトニヤ。神名帳ニ、「山城國紀伊郡御諸神社」ト。和名抄ニ、「上總國畔蒜郡三粟（モヽ）呂（美毛）」ト。和訓栞ニ、「室（ノ）浦ハ播磨也。室明神マシマス。上賀茂同體ノ神也」ト云ヘリ。

職原抄下卷　從三位條ニ、「文武四年、中納言大神高市（カウノタチ）丸叙レ之」ト。駒木村ニ高市ト云フ舊家アリ。駒木モ三輪山地方ニテ因アルコトニヤ。日本紀ニ、大神朝臣高市麻呂アリ。天武天皇ノ功臣ナリ。

茂侶神社ハ千葉郡三山明神ナリトモ、葛飾郡意富比神社ノ末祠ニアリトモ、又、栗澤（ノ）ニモ茂侶ト稱スル社アリ。此ノ三輪山トヲ合セテ四所アリトモイフ。其ノ內ニ、三山ハ必ズ寒川神社ニテ、意富比ノ末社ト、長島トハ、疑シキニ決セリ。栗（ク）澤ト三輪山ノ二所ノ內ノ、三輪山ゾ茂侶神社ナルベキ。栗（ク）澤ハ義公ノ御尋ネアリシマデハ、森伺謙ノ書狀ニテ知ラル。長島村香取明神ハ、寬政二年ニ茂侶神社ノ額ヲ懸ケ、神主私ニ茂侶ト稱セシコトアリ。氏子長島村東西ニ分ツ。東方ニテ吉田家ヘ願ヒテ茂侶神社ノ額ヲ懸ケタレド、西方ニテハ茂侶ト云フ社號用ヒザル由ナリ。此ノコト種々ノ說アリテ長クレバ、モラシヌ。

意富比神社小　葛飾郡五日市場村ニアリ。五日市場村・九日市場村ヲ船橋ト稱ス。船橋ハ、元、栗原鄉ノ內ニテ、栗原鄉ハ、今、栗原本鄉ソノ儉波ナルベシ。今、神明ト稱ス。

社領五十石。天正十九年辛卯十一月社ノ傳ヘハ、天照大神・豐受大神・八幡大神・春日明神ヲ合殿ニ祀レリト云フ。正月十六日ノ神事・二月卯日ノ五穀祭・四月十七日ノ初負背ノ神事・九月十九日ノ角力神事アリ。此ノ月二十日ハ大祭事ニテ其ノ式甚ダ古雅ナリ。ナホ小祭數多シ。祠官ヲ富氏ト云フ。被官ノ社家四氏アリ。所謂ル石上・千葉・宮野・小仲井等ナリ。應長・應永・永享・永祿・文龜・元龜等ノ文書ヲ藏ス。承久元年四月十六日、千葉介平滿胤ノ神領六鄉寄附狀ニ、「東限ニ覆宮塚一、南限レ海、西限ニ洗川井沓縣一、北限ニ石拔路一」トアリ。昔ノサマ見ルベシ。別當覺王寺。今ハ職掌ナシ氏子六鄉ナリト云フ。

承久元年は應永六年の誤か

伊勢大神宮造替遷宮事日食來所々注文。ニ、「二所大神宮御領、諸國神戶・御厨・御園・神田・名田等、合、下總國相馬御厨。神鳳抄ニ、上分三十段。口入三十段。外宮上分五十段。口入百段。雜用布百段。外宮上分四丈布五十段。御幣紙三百六十帖。千丁。一名船橋二百丁。遠山形御厨・葛西猿又御厨。百八十丁。新御厨有レ之。萱田・神保御厨。合五所」トアリ。大和田村ニ神明アリ。此ノ社、元ハ萱田町ニテアリ。今、ソノ塔ヲ古屋敷ト云フ。猿又神保ニモ必ズ神明ノ社アラン。夏見御厨ハ今ノ夏見村ノ地ナリ。東西二村アリ。古ヘ伊勢ノ神領ニテアリシ所緣ニテ、夏見村大神宮ヲ影祭シ、或ハ云ク、今ノ海神村ノ地ナリ。今、御代川氏ノ宅地ノ傍ニ神明アリ。元地ナリトゾ。神明ト號セシナラン。社記ニ、其ノ後夏見ヨリ今ノ地ニ移シタリトアリ。所藏文書ニモ天照大神ト記シアレバ、意富比神社トモ定メ難クレド、或書ニ、伊勢ヲ朝日宮トシ、本宮ヲ夕日宮ト稱スト云フコト見ユ。是ハ見行本三代實錄・延喜式等ニイフヒト傍訓アリ。コレニスガリテ附會セシニテ、意ヲイトスルハ誤ナリ。意ハオノ音ナリ。イトハ云ハズ。若シ果シテ意富ニテ天照意富比神社ト載スル例ナリ。思フニ、神明ヲ夏見ヨリ意富比神社ニ合セ祭リシナルベシ。サレド、御厨ノコトニツキ、社領ハ神明ニツキ居レバ、神明トノミ心得シナラン。

三代實錄ニ、「貞觀五年五月廿六日戊子、授ニ下總國從五位下一。此ノ前ニ從五位下ヲ授ケラレシ事アリシニヤ。又、超授ニヤ。說茂侶神社ノ條ニ見ユ。意富比ノ神社ハ此ノ時代既ニ茂侶神社ヨリ顯レタルコトヽ見エ、位階ヲ授ケラレシモ早ク、又、茂侶ハ正五位上、意富比ハ從四位下マデニ進メリ。十三年四月三日己卯、授ニ下總國正

https://dl.ndl.go.jp/pid/1038113 (参照 2025-11-06) 『房総叢書 : 紀元二千六百年記念』第1巻 縁起古文書,紀元二千六百年記念房総叢書刊行会,昭和16-19 国立国会図書館デジタルコレクション

五位下意富比神正五位上。十六年三月十四日癸酉、授二下總意富比神從四位下一」ト載セタリ。

社傳ノ船橋六郷トハ、高根村・米崎村・七熊村・下飯山村・上波佐間村・金曾木村・夏見村等也。當時顯社ノ社領、大社ハ十二郷、小社ハ六郷ト見ユ。本國香取神宮神領十二郷、サレド、應長元年ノ文書ニ據ルニ、西船橋三郷、湊・夏見・金神崎社六郷、餘モサル例ナリヤ。ナホ考フベシ。

曾木。湊ハ今ノ海神村、金曾木ハ金杉村ナリ。東船橋三郷、宮本・高根・米崎（クメザキ）宮本ハ今ノ船橋ナリ。トアリ。七熊・下波佐間見エズ。此ノ二村ハ高根・米崎ノ分郷ナラン。

色川三中曰、「類聚三代格卷十六、道橋事條ニ、應下造二浮橋一、建二布施屋一、幷置中渡船上事。略下總國太日河四隻元二隻今加二二隻一。トアル太日モ、大日ノ轉ナラム」ト。天武紀ニ迹太川、萬葉十三ニ鯛大遙、十九ニ鰯大要ナドアリ。眞間弘法寺文書ニ、及川（モヒカハ）ト云フ姓見ユ。サテ、太日モ大日モオホヒナルヲ、東鑑ニ太井川（フトヰガハ）トアルハ、島田ノ大井川ト同名ヲ避ケシニヤ。固ヨリ訓ノアヤマリナルカ。ヒヲイト訛ルハ中古ヨリノコトナルベシ。

駿河國安倍郡ニ上田村アリ。ハタト云フ。ウハタノ略ナリ。此ノ村ニ大井神社アリ。其ノ外、大井川通リ、此ノ村ヲ初メトシテ、志太郡・益津郡ノ村々、大井神社ヲ祭ラザルハナシ。大井川ノ名モ此ノ社ニヨルニヤ。祭神岡象女命・姫大神・埴安姫命ナリト云フ。駿河新風土記ニ載ス。益津郡郡村ニ大井神社アリ。祠官大楠若狹ト云フ。祭神詳ナラズ。

社傳ニ岡象女命ヲ祭ルト云フ。此ノ社舊（モト）ハ田中城地ニアリテ、大楠神社ト云フ。慶長中、今ノ地ニ移セリトゾ。

志太郡島田宿・安倍郡井川村ニモアリ。サレド、古風土記ニハ見エズ。神階帳ニ、志太郡大井三島御子天神トアレド、何レノ郷ニアリシヤ詳ナラズ。

山崎知雄云、「文書ノ覆宮塚ハ、卽チ、意富比宮塚ノ借字ナルベシ」ト。此ニヨリテモ、意富比神社ハ神明社ノ外ナルコト知ラルヽナリ。

蛟螭神社（ミヅチ）小　相馬郡立木村ニアリ。文間明神ト稱ス。社領五十石。天正十九年辛卯十一月奥ノ宮・角ノ宮ト二社ナリ。社ノ傳ヘハ、奥ノ宮ハ岡象女、角ノ宮ハ埴山姫（ハニヤマ）ヲ祀ルトイヘリ。相殿、句句廼馳命・軻遇突知命・金山彦命。六月十五日稻刈ノ神事アリ。稻刈ノ神事ノ時、コノ地ノ舊領主伊賀守松平侯。ヨリ、燒絹（モシ）トテ絹若干、ソノ他品々ノ備物、今ニ廢スル事ナシト云フ。祠官友野氏・海老原氏。外ニモ社家五人別當ヲ宮臺山神宮寺ト云フ。又、無量院ト云フ。天台宗。氏子村常陸國ニ亘リテ二十七ケ村アリト云フ。此ノ社、祭事ニ筑波山蠟歌會ニ似タルコトアリシガ、今ハ絶エタリトゾ。

岡象女（ヲカノカノ）・埴山姫（ハニヤマヒメ）ヲ祀ルトイフハ、蛟螭（ミヅチ）ノ訓、水土（ミヅチ）ト通フニヨリ附會セシモノナラン。社傳ニ神體ハ蛇形ナリトイヘバ、文字ノ如ク蛟螭ノ神ナルベシ。村名ヲ立木ト云フモ此ニ於箇美（オカミ）ノ音カ丁反。蛟龍ハ和訓ミツチ、角ナキ龍ナリ。和名抄ニ、水神ヲ美豆知（ミヅチ）ト訓セリ。書紀ニ、「劍頭垂レ血、激越爲レ神。號曰二闇龗（クラオカミ）一。此云二於箇美一。次闇山祇（クラヤマツミ）、次闇岡象」龗ハ巨神ニテ卽チ蛇ナリ。常陸河内郡龍ケ崎邊ニ岡見村アリ。此モ巨神ナル由、常陸志料ニ見ユ。此彼因アルコトナラシカ。凡テ稱呼ハ地名ニ殘レルモノ多ケレバ、蛟螭ノ元ノ訓ハ龍神（タツガミ）トモ云ヒシニヤ。

式外

子松神　香取郡神崎村ニアリ。神崎、元ハ宮和田ト云フ由、社藏文書ニ見ユ。神崎ハ小松郷内ナルベシ。小松郷ハ大慈恩寺文書ニモ見ユ。社領二十石。天正十九年辛卯十一村ニテ四十町九反アリ。六ケ村トハ、惣額・宮和田・小松・上畠・多賀・青山等ナリ。文書ニ見ユ。月。社領、元ハ六ケ文書ニ白鳳二年六所鎭守トアリ。此ノ月ハ天武天皇ノ、面足尊・惶根尊ヲ祀ルトイフ。トアリ。

https://dl.ndl.go.jp/pid/1038113 (参照 2025-11-06) 『房総叢書 : 紀元二千六百年記念』第1巻 縁起古文書,紀元二千六百年記念房総叢書刊行会,昭和16-19 国立国会図書館デジタルコレクション